様式第35号（第18条関係）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

（宛先）

　滋賀県知事

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　TEL

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　※代表者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者　　　　　　　　　　　※ほか　　　名（別紙８のとおり）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては、主たる事務所の所在地および名称ならびに

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者の氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職　　業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　生年月日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　麻酔銃猟許可申請書

　住居集合地域等における麻酔銃猟の許可を受けたいので、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律

第38条の２第２項および鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律施行規則第46条の２第１項の規定に

基づき、次のとおり申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 使用する麻酔薬の名称および量 |  |
| 住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由 |  |
| 捕獲等の期間 |  |
| 捕獲等の区域 |  |
| 捕獲等をする鳥獣の種類および数量 |  |
| 危害の防止のための措置 |  |
| 麻酔銃の所持許可証の番号および交付年月日（所持許可者以外の者が実施する場合は、人命救助等に従事する者届出済証明書の番号および交付年月日） |  |

注１　住居集合地域等における麻酔銃猟については、この申請のほかに、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化

　　に関する法律第９条第２項の規定に基づく許可の申請が必要であり、更に、必要に応じて同法第37条の規定に

　　基づく危険猟法の許可の申請が必要であることに留意してください。

　２　「使用する麻酔薬の名称および量」欄には、使用する麻酔薬の名称または主成分および１発射当たりの施用

　　量を明示してください。

　３　「住居集合地域等において麻酔銃猟をしなければならない理由」欄には、生活環境に係る被害の状況または

　　被害が生じるおそれのある状況を踏まえて、当該住居集合地域等で実施しなければならない理由、捕獲等の作

　　業の安全性および迅速性について他の手段と比較して麻酔銃猟によることが適切とする理由等を記載してくだ

　　さい。

　４　「捕獲等の区域」欄には、市町、大字、小字、地番（地先）等を記載し、捕獲等の場所を明らかにした縮尺

　　５万分の１以上の地形図等を添付してください。

　５　「危害の防止のための措置」欄には、人の身体または生命に予期しない危険を及ぼすおそれを回避する観点

　　から行う措置（方法等の工夫等）を具体的に記載してください。

　６　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とします。